

特別会員フォーラムの開催結果について

2016年1月28日
(一社)日本原子力産業協会

1. 概要

- (1) 日時： 2015年12月10日(火)13:00-16:40
- (2) 場所： 日経カンファレンスルーム（東京 千代田区）
- (3) 参加者数： 89名（内女性39名）
- (4) テーマ：
「女性に届く情報とは？－SNS時代における情報発信の在り方を考える－」
- (5) 内容：
 - ・ SNS等の新しい情報メディアを活用して、原子力関連情報をどの様に届けて、更には理解・納得につなげていくのかの糸口を探るべく、女性を対象としたインターネットサービスを行ってきた読売新聞福士氏と原子力関連情報をTwitterで発信してきた東京大学早野氏に登壇頂き、基調講演とパネルディスカッションを実施した。
 - ・ 基調講演のポイントは以下の通り

【福士氏】

- ▶ 女性は「メディアとの接点が社会との接点」の傾向が強く、ネット社会では大切な観点。
- ▶ ソーシャルメディアは興味のある情報に接し、一定の帰属感が得られ、女性の情報行動になじみ易い。

【早野氏】

- ▶ Twitterを使うに当たっては、発信する何倍も読むこと、距離感を保つことが大事。そこから読んでもらうためのノウハウも学んだ。
- ▶ パーソナリティは積極的に出したほうが良い。
- ・ パネルディスカッションのポイントは以下の通り
 - ▶ ネット上での発信には十分に注する必要がある。発信する何倍も読みながら、読者像を想定しながら発信すると良い。
 - ▶ 「言いつ放し」ではなく「受けとめる」という意思の疎通があると良い。
 - ▶ 子育て中の母親などの女性は原子力に対して圧倒的にネガティブ。これを切り崩していくことは困難であり、長期的な取組みが必要。



2. 主な感想

- ・ 早野氏の基調講演の内容は、これまでの具体的な活動を伴った話であり、解りやすく説得力を感じた等、非常に好評であった。
- ・ 「(リスク)コミュニケーションのあり方」や「日本のエネルギー・原子力政策」、「放射性廃棄物処理・処分」をテーマにした講演を望む声が多くあった

3. 今後の展開

今後も原子力に関する理解促進が求められる対象を意識しつつ、アンケート結果も考慮しながら、時機にあった話題をテーマとして2016年度以降についても特別会員フォーラムを開催予定。

